

マイスターだより

川西町立小松小学校
令和8年9月4日（金）No.23
文責：情野 夏美

マイペース学習への挑戦①

早速、3年算数で伊藤先生と押野先生が、4年国語で田林先生と芳賀先生が、芳賀先生は4年社会でもマイペース学習に挑戦してくださいました。押野先生と芳賀先生の授業を1時間ずつ参観させていただきました。お二人の挑戦、頑張りをご報告させていただきます。これから挑戦される先生方の授業もぜひ参観させてください！

また、自分でやっているとは悶々とするところがあるので、ぜひ、他の先生の授業を観ていただき、ご自身の授業の参考にいただければと思います。

【3年算数 あまりのあるわり算 押野先生】

①自由に友達と好きな場所で学習できる安心感

一人で黙々と問題を解く子、友達と一緒に相談しながら解く子、隣に友達はいるけれどお互いに別の問題に取り組む子と様々でした。自分にあったペースで進むことができるので、落ちて学習に取り組むことができていました。

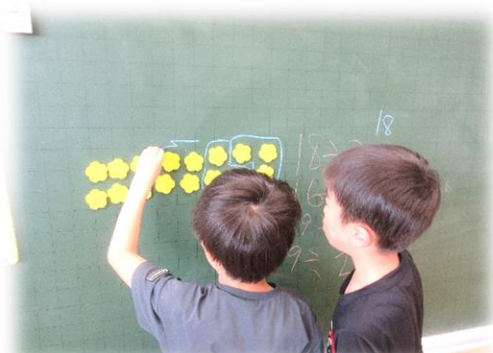
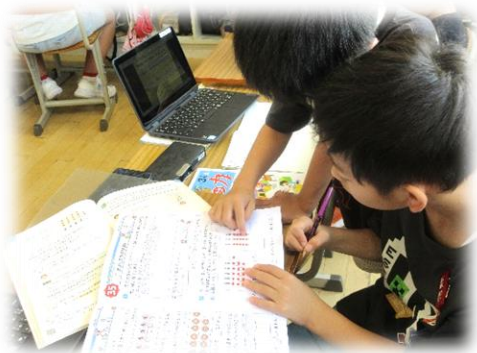


②今日するべきことが分かる教室

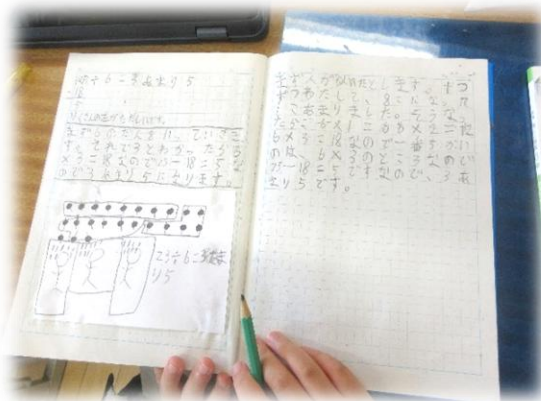
「先生、今日は何をするんですか？」が聞こえませんでした。先生がいなくても、今日するべき学習を分かっている、3年生でも自分たちで学習に取り組まっています。素晴らしい！

③自然と生まれる教え合い

人によってペースが違うからこそ、先に進んでいる子が自信満々に教えることができる。先に進んでいる子に恥ずかしがらずに聞くことができる。そんな自然な教え合いが生まれていました。



1時間の中で、一人で、1ページ半書いた子も！図や既習事項を使って、ぶつぶつと言いながら一生懸命に理由や説明を書いていた。書き終わると、嬉しそうな表情をしていました。問題に懸命に、そして前向きに取り組む姿を見ることができ、私まで嬉しくなりました！



【4年社会 風災害からくらしを守る 芳賀先生】

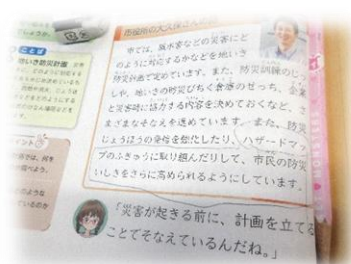
① 分からない所をすぐに聞くことができる教室

学習内容が違っていても隣で学習している子に聞く、席を立てて聞きたい子に聞きに行く、など分からない、教えてほしいことを聞き合える関係性や雰囲気がいいなと感じました。



② アナログとデジタルのいいとこどり

教科書をじっくり読んだり、線を引いたりして考える子。タブレットで調べて考える子。アナログかデジタルかを自分で選択して調べる、学習する。自己調整力のひとつだなと感じました。教科書でもインターネットでも、たくさんの情報の中から必要な情報を選ぶ力は、これからとっても必要になってくるので、いい学習形態だなと思います。

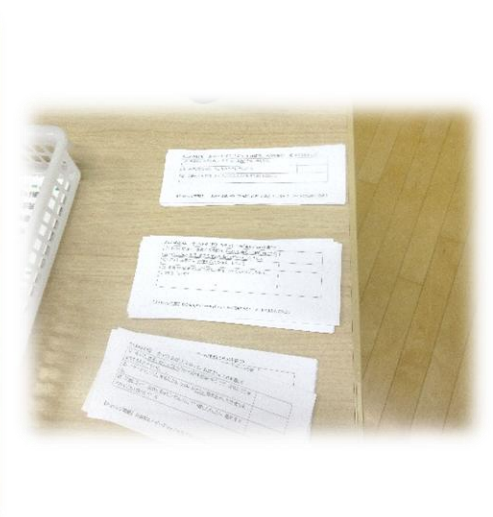
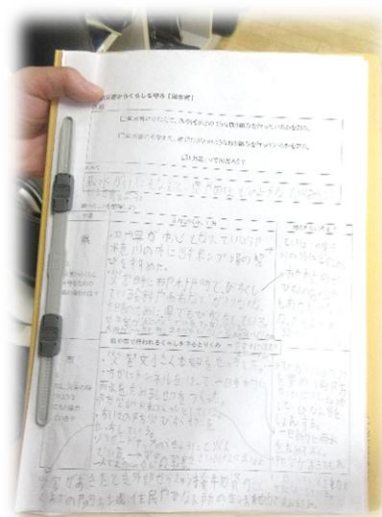


③ 児童の意欲が高い

じっくり教科書を読む子、ワークシートにどんどん書き込んでいく子。全員が課題に真剣に向き合っていました。

④ 教材の準備

ワークシートで学習を進めていました。チャレンジ学習も用意されており、準備が素晴らしかったです。



～押野先生と芳賀先生の授業から感じたこと～

- 何もしていない、やることが分からない人がいない！
→ 児童が単元計画、学習内容をしっかりと分かっているなと思いました。一時間目の児童に伝える際の教師の提示の仕方が重要になってくると思います。その際、児童が単元の学習内容を自分事としてとらえたり、興味を持ったりするような仕掛け、工夫が必要だと感じました。
- 教え合いが生まれている！
→ 3年生も4年生も、気軽に聞き、嬉しそうに答えたり教えたりしていました。教師主導の学習では見られない光景をたくさん見ることができました。教え合いのほかに、考えを伝え合い、議論し合う姿が自然と見られることが、理想であり、目指したい姿だなと思っているので、みなさんで頑張っていきましょう！